

令和6年度【第72回】

熊本県
統計グラフコンクール
作品集

熊本県・熊本県統計協会

統計グラフコンクールの概要

熊本県統計グラフコンクールは、統計の知識を広めることと、統計を表現する技術を高めることを目的として、昭和28年から実施しているもので今年度（令和6年度）は72回目になります。

今年度は、6部門に74点の作品の応募があり、審査を経て特別賞10作品、入選17作品、佳作14作品が選ばれました。この作品集は、これらの入賞作品を掲載したものです。ご覧になったみなさんが統計グラフに興味を持っていただき、今後、統計グラフを作ってみようと思われる方々の参考になれば幸いです。

また、入賞作品を熊本県のホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

入賞状況

応募部門	応募数	特別賞	入選	佳作	全国出品
第1部(小学1・2年生の作品)	4	0	3	1	2
第2部(小学3・4年生の作品)	13	1	4	2	2
第3部(小学5・6年生の作品)	26	3	4	3	2
第4部(中学生の作品)	11	0	5	3	2
第5部(小中学生のパソコン統計グラフの作品)	5	1	1	2	1
第6部(高校生以上の作品)	15	5	0	3	2
合計	74	10	17	14	11

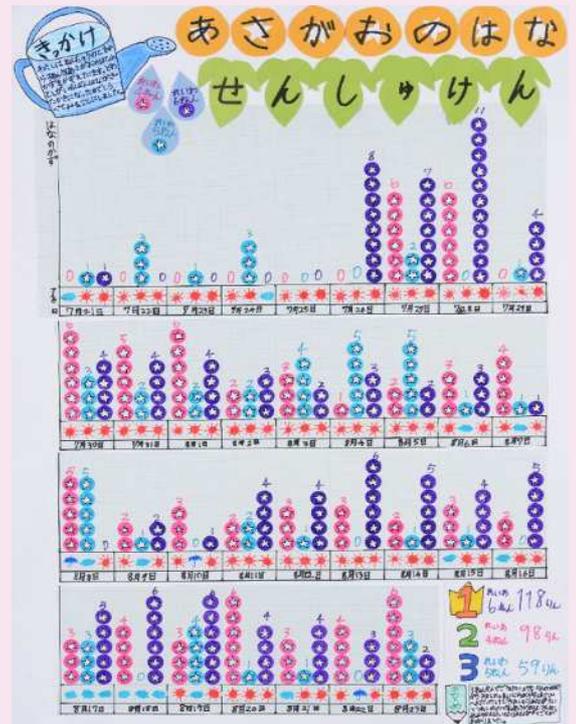
入選

全国コンクール：佳作



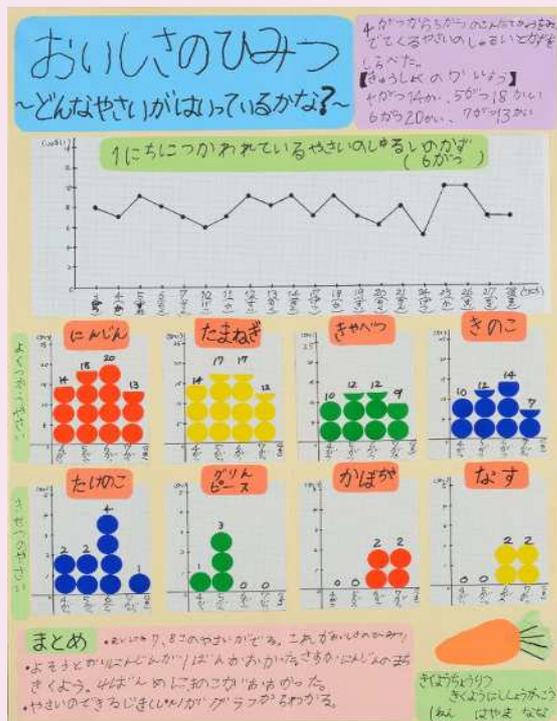
がっこうだいすき

栗木 彩稟／渡邊 大和／水谷 優月
 平田 望来生／釣井 孝臥
 山鹿市立菊鹿小学校1年



あさがおのはなせんしゅけん

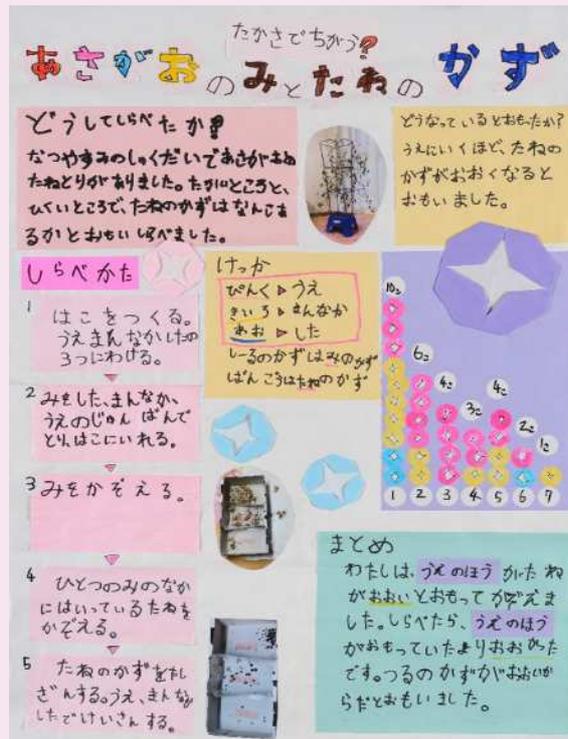
工藤 ふみか
 熊本市立帯山小学校1年



おいしさのひみつ
 ~どんなやさしいがはっているかな?~

羽山 奈那
 菊陽町立菊陽西小学校1年

佳作

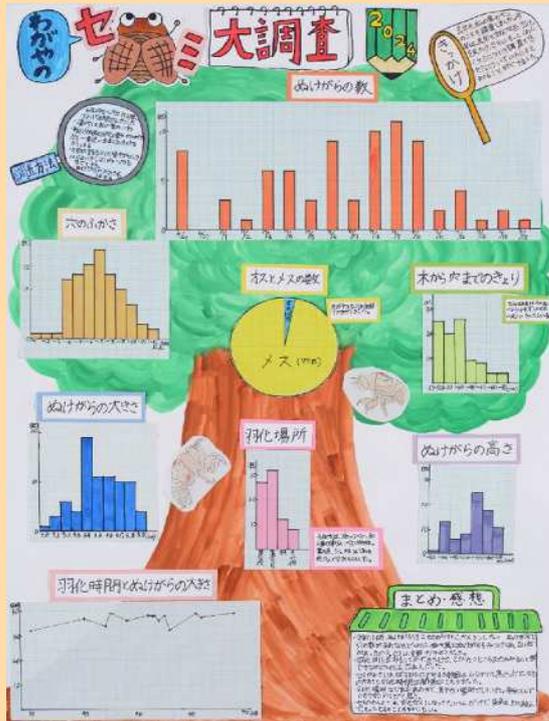


たかさでちがう？
あさがおのみとたねのかず

石橋 怜果

熊本市立託麻南小学校1年

入選



わがやのセミ大調査2024

工藤 ひかり

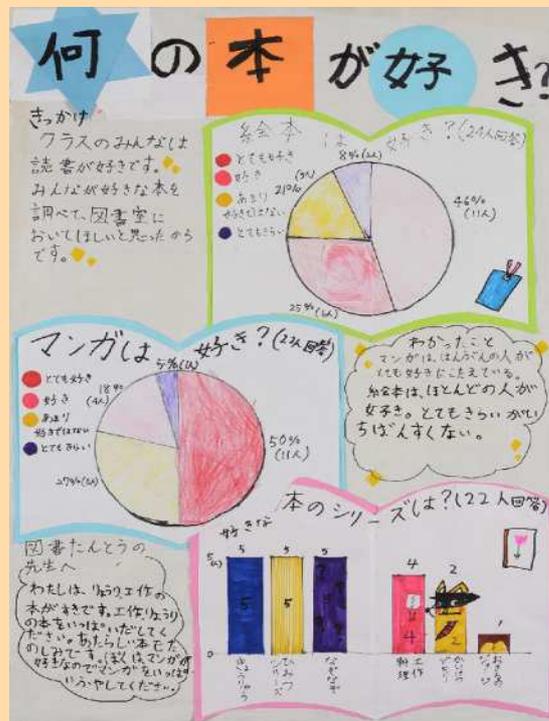
熊本市立帯山小学校3年



水のみやこ 熊本県

岡林 瑠華

南関町立南関第一小学校3年



何の本が好き?

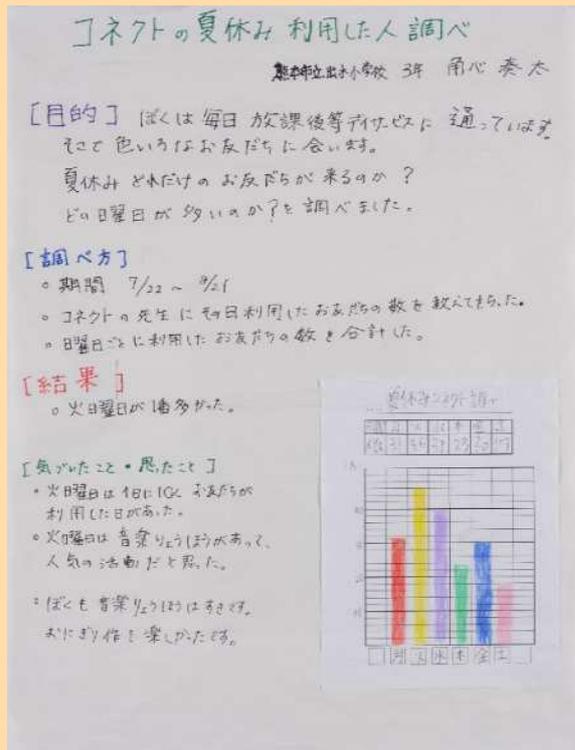
中村 圭杜/寺尾 幸弓希
益城町立広安西小学校3年



わたしが食べた...
お菓子の製造所ランキング!

金田 和花
益城町立広安西小学校4年

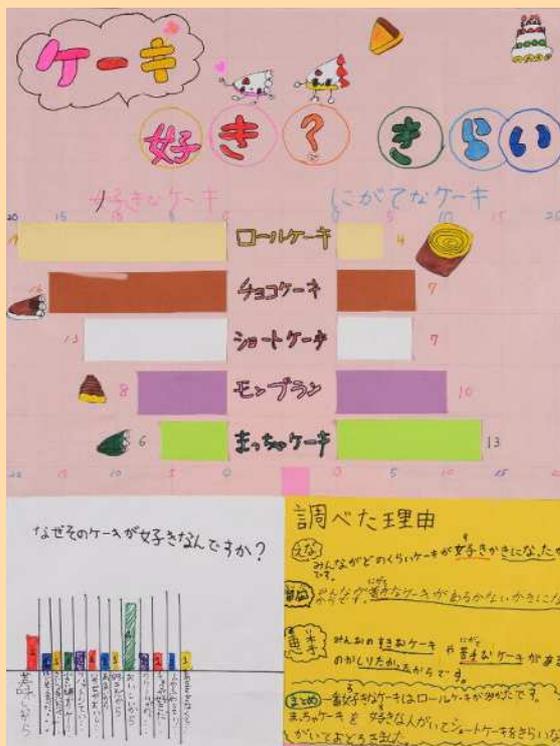
佳作



コネクトの夏休み
利用した人調べ

角心 奏太

熊本市立出水小学校3年



ケーキ 好き？きれい？

佐藤 恵李 / 中村 恵菜 / 寺田 瑠凪

益城町立広安西小学校3年

特別賞

鶴屋百貨店賞

竜西っ子が健康になるひみつは
すいみんにあった!?



前橋 修斗 / 田中 恵麻 / 下川 真央
氷川町立竜北西部小学校5年

子ども達にとって睡眠はとても大切なこと。ここでは、寝る時間に着目してその原因などを調査し、自分の意見も太陽のようなカットの吹き出しを使ってしっかりと述べています。

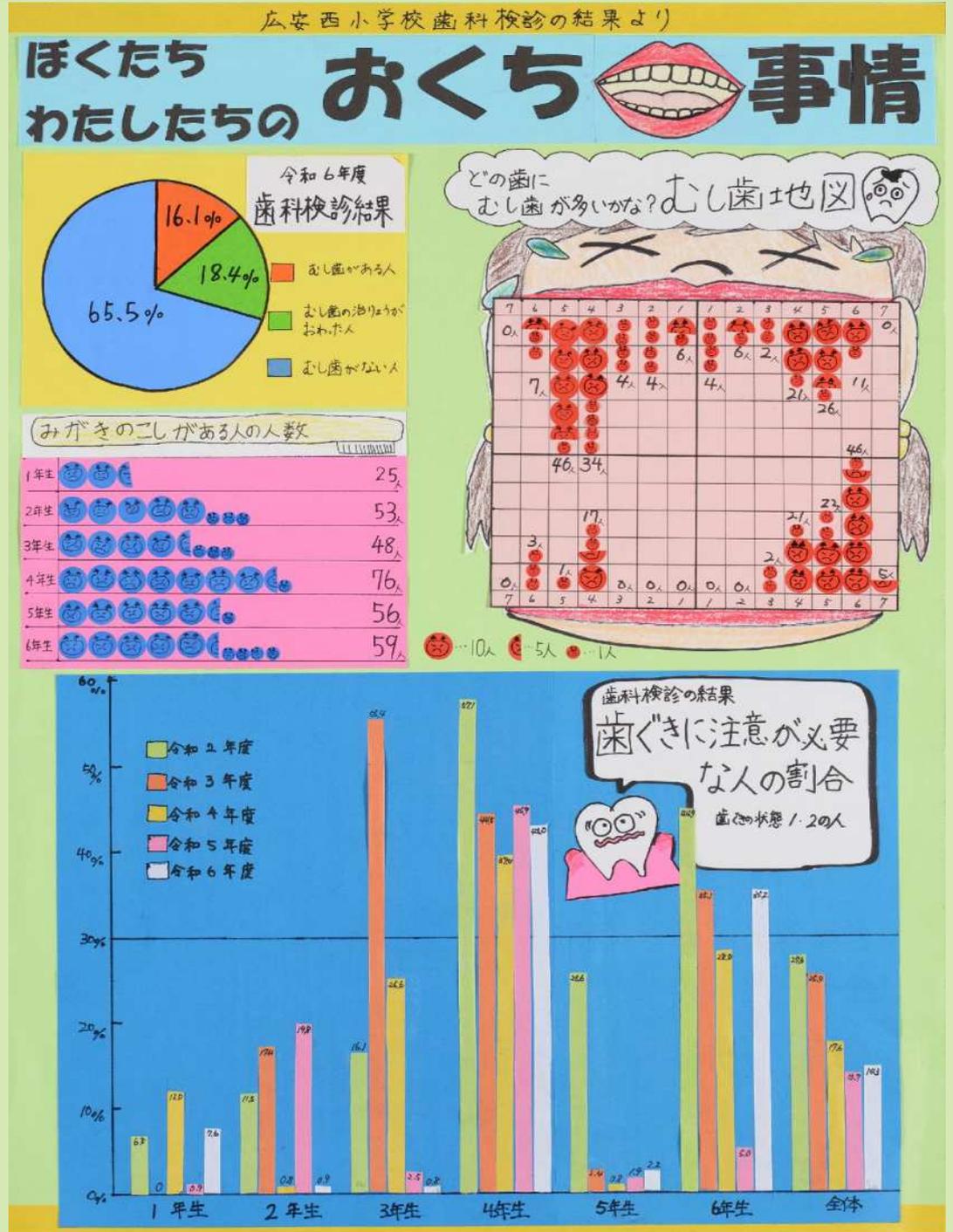
各グラフを適切に配置し効果的に使用し、内容を大胆にまとめるという思いっきりの良さが、見やすい画面構成につながっています。半数以上の方が学校で眠くなると答えていて心配ですが、このような統計を作品として表現することが、各自の意識改善をうながすことでしょう。

特別賞

テレビ熊本賞

ぼくたち
わたしたちの

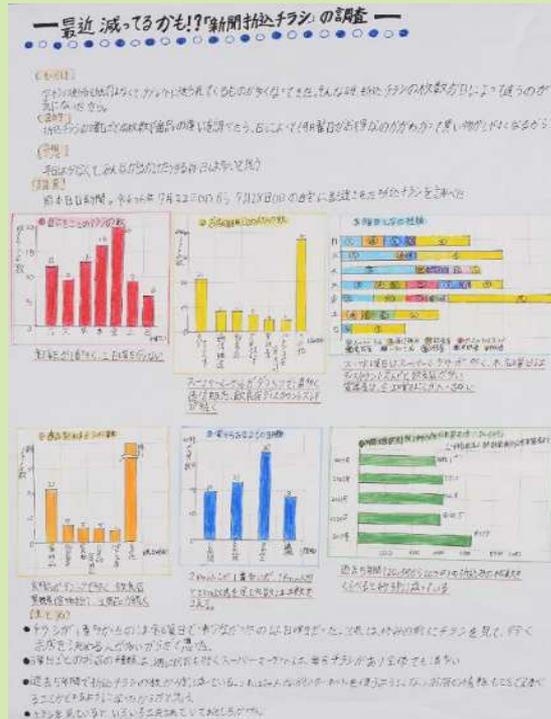
おくち事情



古嶋 咲幸 / 平川 颯真 / 宮崎 智仁
益城町立広安西小学校6年

思い切った画面構成で、「みがき残し」や「むし歯地図」などのグラフに、丸や半丸そして小丸による人数表現を用いるなど、グラフの長さをアイデアによって短めるという実にユニークな表現です。特に「むし歯地図」は場所と数が分かりやすく、効果的なイラストで表現されています。また、「歯ぐきに注意が必要な人の割合」のグラフは学年別かつ年度毎の変化が一挙に分かる工夫されたグラフとなっています。独自性のある表現による個性的な作品です。

入選



最近減ってるかも!?
 「新聞の折込チラシの調査」

石川 倫太郎
 熊本市立尾ノ上小学校6年



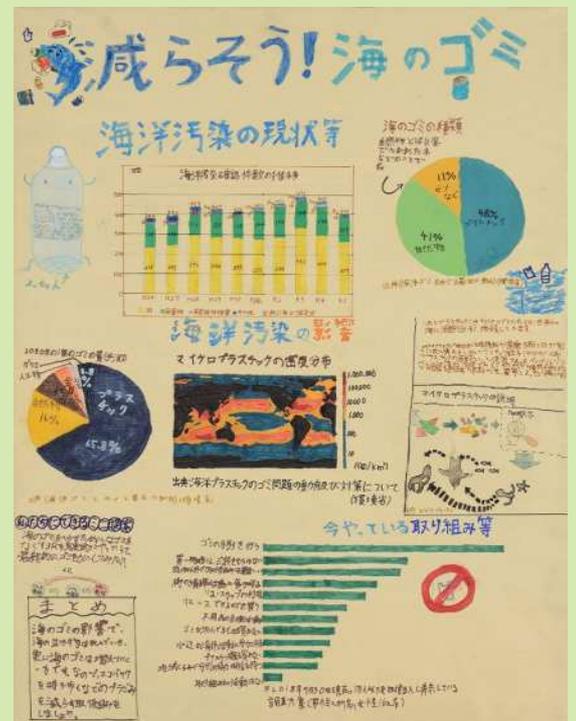
メディアの使いすぎにご注意

陳野 梓実 / 齊藤 翔太
 村田 悠依奈 / 本郷 望結
 氷川町立竜北西部小学校6年



ゴミしらべ

本住 弥月 / 本住 彩葉
 (2年) (5年)
 益城町立広安西小学校



減らそう! 海のゴミ

川口 英心 / 徳永 喜哉 / 近藤 悠吏
 中島 日々歩 / 上野 蒼汰
 熊本市立楠小学校5年

佳作



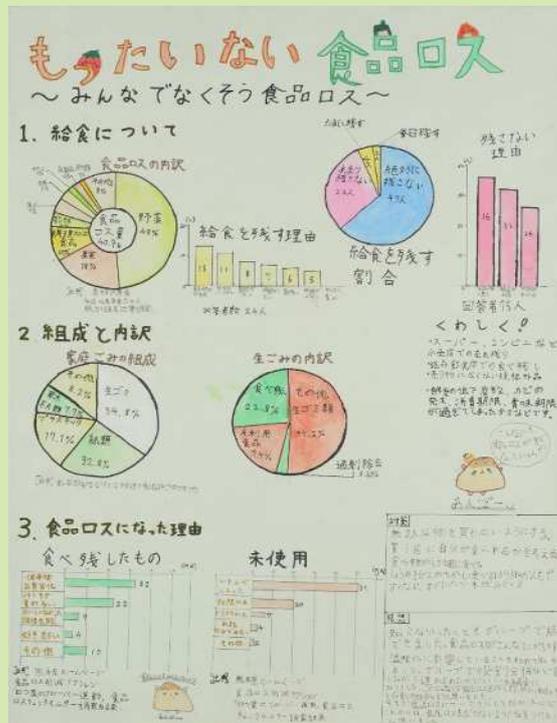
目指せ綺麗な地球

立石 悠樹／吉田 晴
福川 史晃／坂口 愛
熊本大学教育学部附属小学校5年



人が及ぼす公害

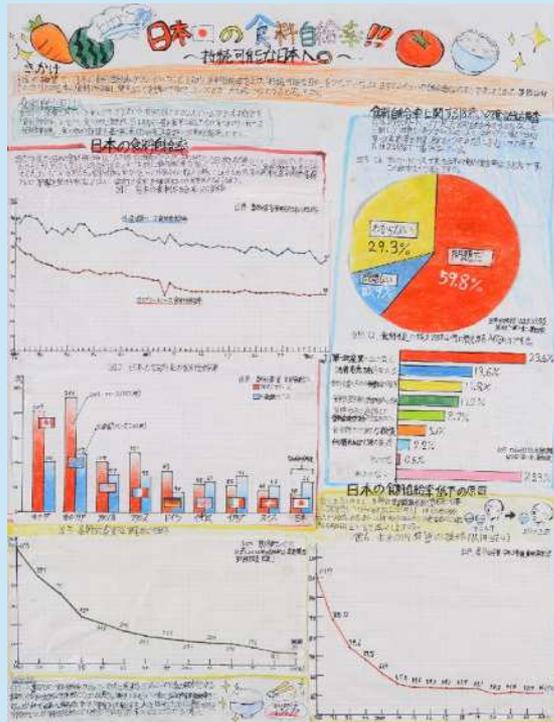
山田 葵子／川本 怜奈／岡本 佳奈
田方 美奈／鍋島 十希子
熊本大学教育学部附属小学校5年



もったいない食品ロス

小佐井 玲華／野口 愛叶／高野 萌衣
鶴島 琴音／白井 柑風
熊本市立楠小学校5年

入選



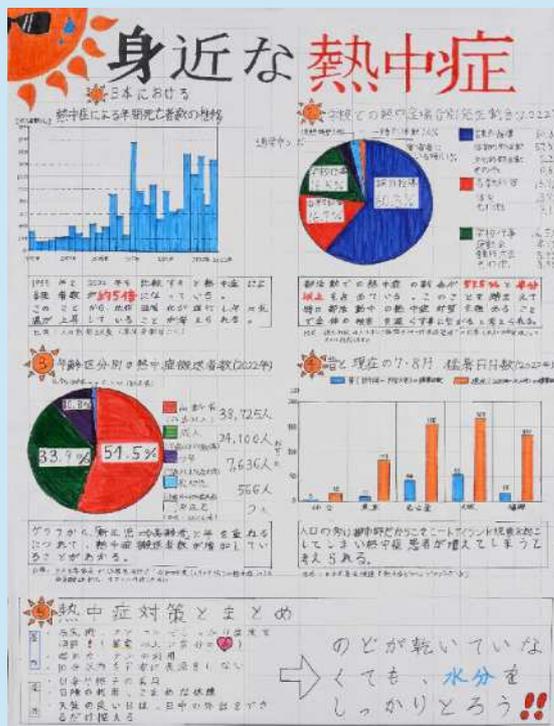
上げよう！！
日本の食料自給率！！

藤本 千暖
熊本市立西山中学校2年



地球はどうなる！？
～温暖化による影響～

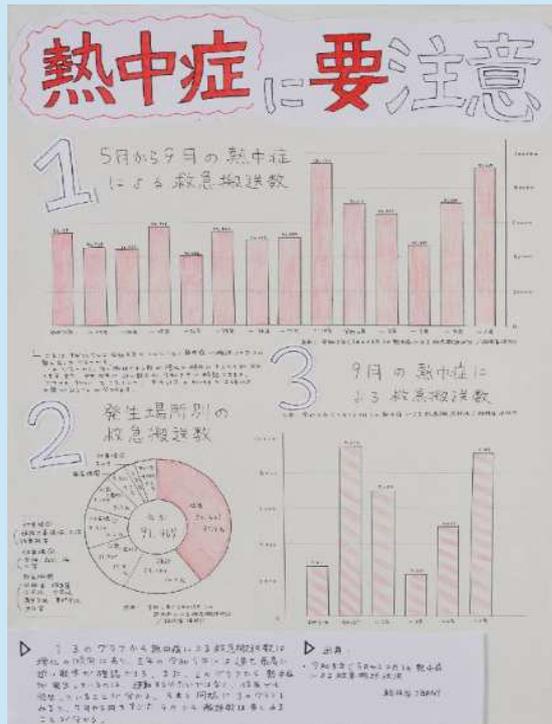
川口 希実子／佐藤 瑚々美
熊本市立西山中学校2年



身近な熱中症

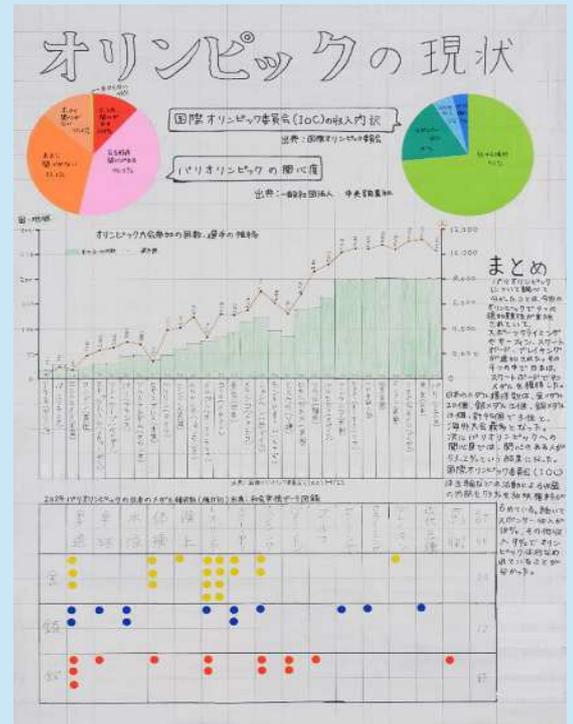
塩田 義晟／高橋 峻介／恒松 鉄心
熊本市立西山中学校2年

佳作



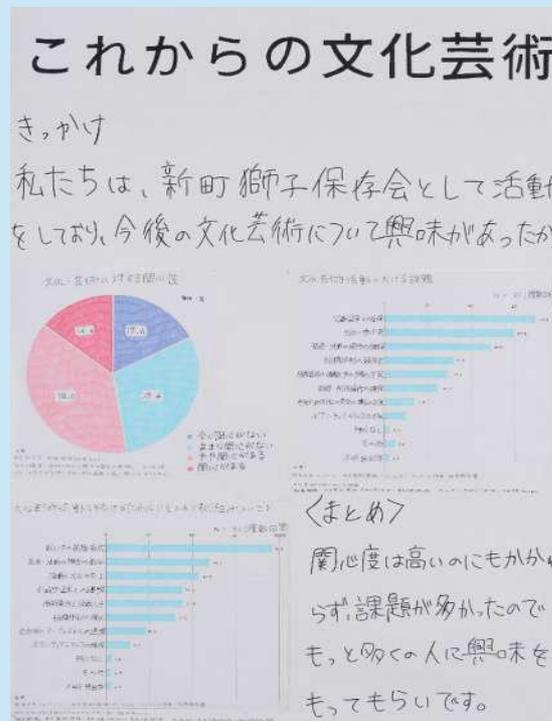
熱中症に要注意

伊藤 暖
熊本市立西山中学校2年



オリンピックの現状

池田 風優 / 後生川 葵子
小林 環 / 田邊 莉子
熊本市立西山中学校2年



これからの文化芸術

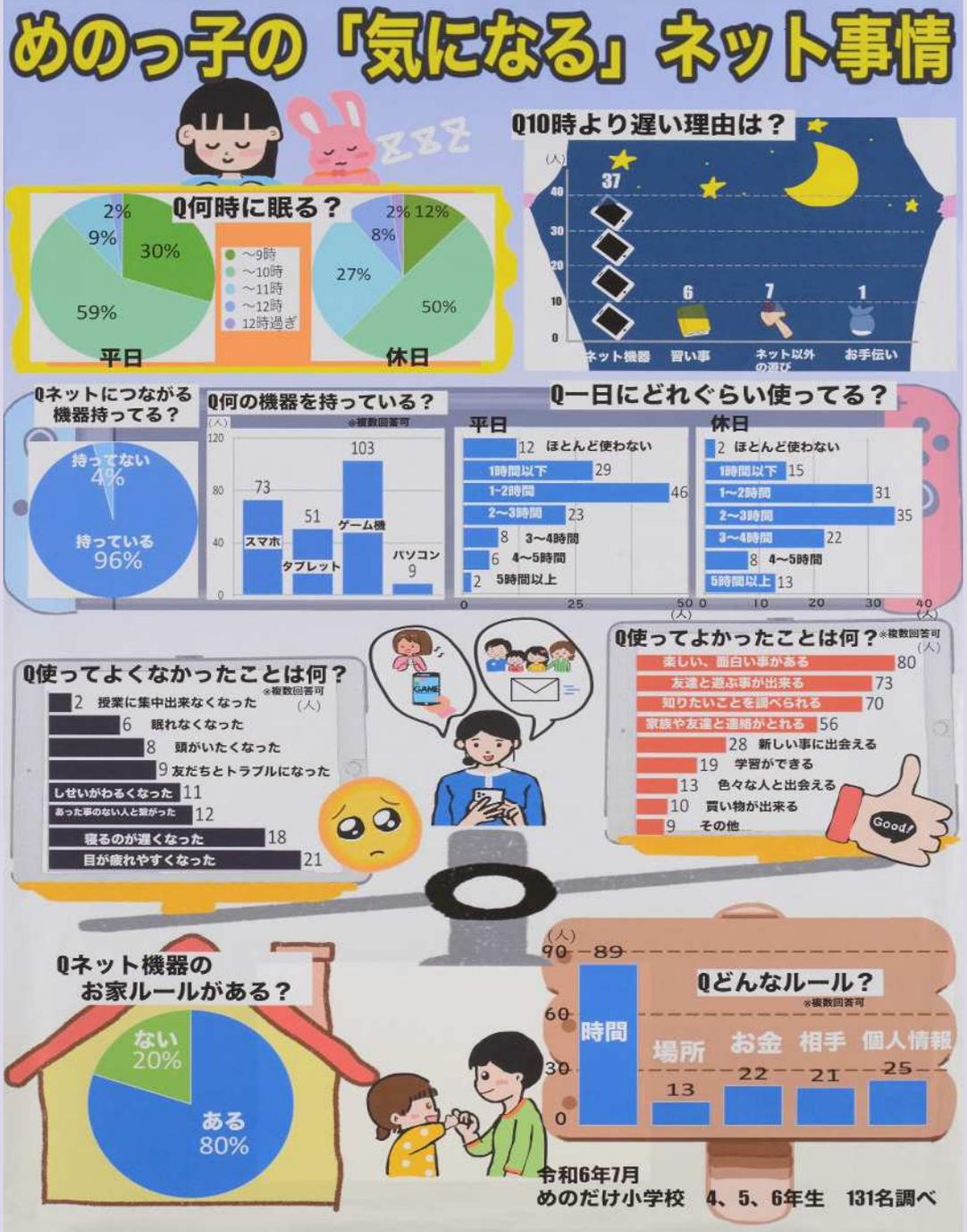
福田 莉子 / 入江 翠
熊本市立西山中学校2年

特別賞

全国コンクール：佳作

熊本県知事賞

めのっ子の「気になる」ネット事情



朝倉 陽菜／五嶋 潤／廣瀬 夢唯亜／井出 千尋
山鹿市立めのだけ小学校 4年／5年／5年／6年

パソコン統計グラフの部で、テーマを「ネット事情」としたのは面白いですね、実際の状況を調査し、友達の様子を知り、自分や友達の意識に働きかけようとするのは素晴らしい事です。

今やネット環境は、どこの家庭でも充実しているようです。友達とのトラブルなどは実に困りますが、「使ってよかったことは何？」など良い意味での活用を知らせているのがいいですね。美的な構成や色使いも素晴らしく、温かいカットが画面を優しく明るくしています。

佳作

夏の気温変化について

きっかけ
今年の夏に入って去年と比べて暑くなっていると感じたから去年や10年前に比べてどのように変化しているのが気になったので調べようと思いました。

熊本県気温



まとめ

10年間で気温が大きく変化していてこれからは気温が上がり続けていってしまうかもしれません。気温が上がるとエアコンをつける機会が増えて室外機から出る風の原因で気温が上がり、車も同じでエアコンをつけて二酸化炭素を排出するせいで空気の濃度が高くなり熱の吸収が増えるせいで地球温暖化が進んでしまいます。

3つのグラフを見て

思ったこと。
10年前は夏の気温の差があり低くて27度高くて36度と快適感がありました。けど2023年には低くて34度高くて36度あり気温の差があまりなく10年前と比べて快適感がありませんでした。そして今年に入ってからは最高気温が39度と40度に近づいてきています。気温が上がったせいで体調管理が難しくなりました。

資料 熊本県気象庁の九州電力

夏の気温変化について

嶋村 妃奈
熊本市立西山中学校2年

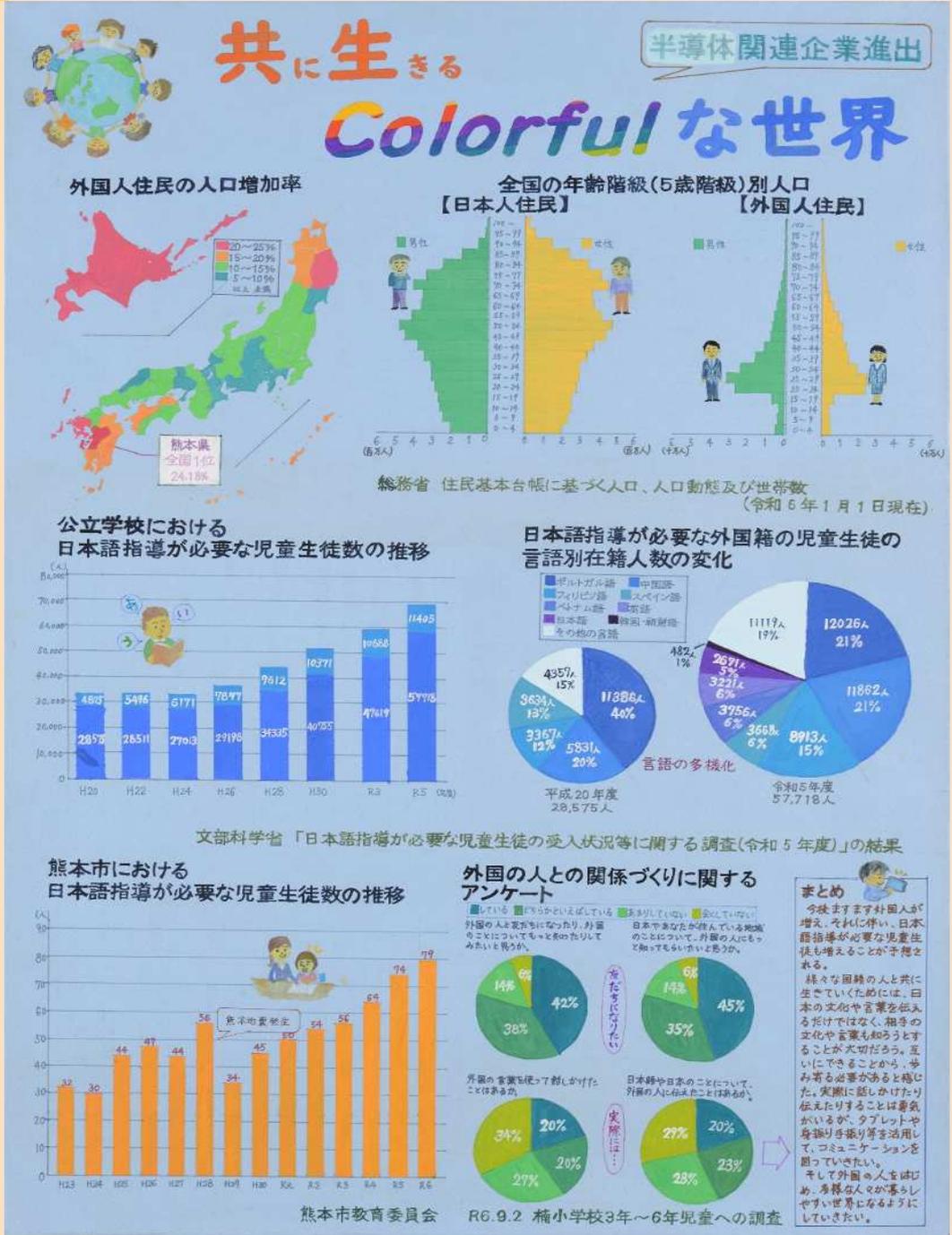
地球温暖化について
~地球の現状・私たちの未来~

柚木 優那 / 宮本 優花
熊本市立湖東中学校2年

特別賞

熊本県議会会議長賞

Colorfulな世界 共に生きる



坂元 ゆみ 一般

素晴らしい内容と構成そして色使いの作品です。いろんな国の人達との共生を「カラフルな」としたアイデアは作者の優しさの表れでしょう。色は上部と下部に暖色、中央部を寒色系で配置し、実に美しく表現されています。

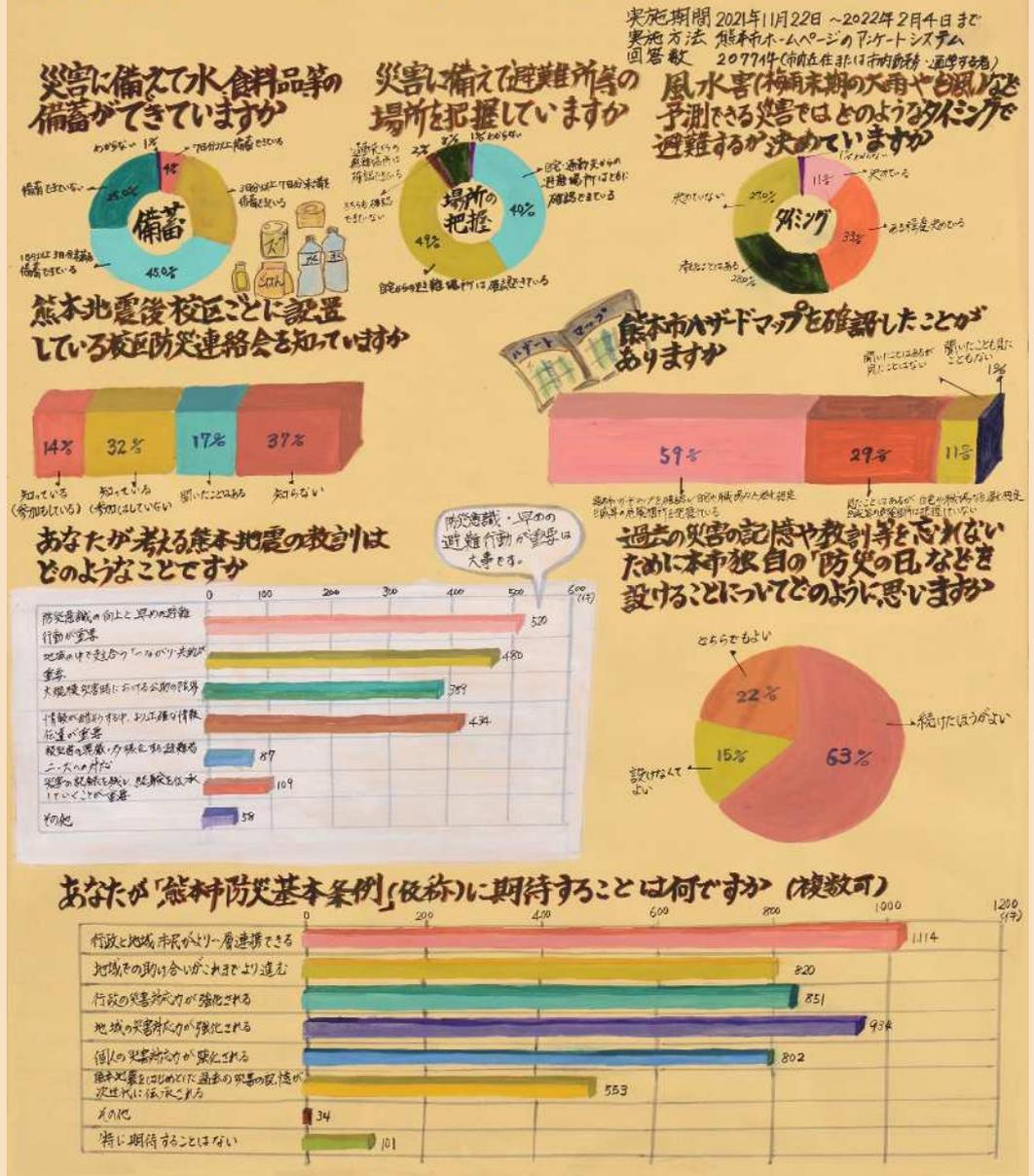
全国、熊本市そして楠小学校の3学年にわたる調査など具体的な内容で、しっかり自分の意見も述べられています。きれいな文字そしてグラフやカットが全て手描きによるもので、心のこもった実に見応えのある作品となっています。

特別賞

熊本朝日放送賞

熊本市防災基本条例(仮称)の
制定に向けた市民アンケート

熊本市防災基本条例(仮称)の制定に向けた市民アンケート



西島 達子
熊本市立中緑小学校

防災に対する熊本市民の意識をいろんな項目ごとにグラフ化し、適切な配置で効果的にまとめてあります。棒グラフ帯グラフなどを立体的に見せたり、タイトルや内容における文字表現を丁寧に書いたりするなど、作者の誠実な心が表れているようです。

グラフの種類や項目ごとの配置など申し分ないところですが、各グラフの色については、もっと彩度の高い色を使ったり明るいパステルカラーなどを使用したりするとより美しい色使いになるとかと思われます。

特別賞

全国コンクール：入選

熊本放送賞

【注目】ネット上の情報は本当に信じてもいいの？

おすすめ ランキング 芸能 国際 スポーツ 天竺

あなたにおすすめのニュース

【注目】ネット上の情報は本当に信じてもいいの!?

このタイトルが目止まったあなた。

タイトル詐欺かと感じたかもしれませんが、これが今回の着眼点です。身近な存在となったインターネットには、便利で有益な情報が溢れる一方、自分に都合の良い情報ばかりが目に入り、真実が見えにくくなる危険性もあります。

情報社会において、何を信じるべきかを考えることが求められています。このポスターをきっかけに、ネットを賢く使いこなすための一歩を踏み出してみませんか。

※この情報は、任意の意図を持って加工されたものであり、その真実性を判断する必要があります。真実を追求することが美徳です。

【速報】年齢が上がるほどスマホ利用率も上昇

年齢別スマートフォン利用率

年齢	男子 (%)	女子 (%)
10	48.2	52.1
11	55.3	58.4
12	62.1	65.2
13	71.5	73.8
14	78.9	81.2
15	85.4	88.7
16	92.1	94.5
17	97.4	99.5

最新の調査によると、年齢が上がるにつれてスマートフォンの利用率が急増していることが明らかになりました。特に16歳以降では95%以上が使用しています。つまり、高校生のほぼ全員がスマホを活用している現状です。この結果は、インターネットが日常生活に深く浸透し、身近な存在となっていることを示しています。スマホ利用の増加は、情報社会の中で過ごす私たちにとってネットが不可欠で身近なツールになっている現状を反映しています。

【おすすめされる情報】を選びやすい

最新ニュースを知りたいときの行動

行動	割合 (%)
SNSの情報をみる	28.1%
検索結果の上位の情報を見る	20.3%
自分へおすすめされる情報を見る	50.8%
特定のサイトの情報のみを見る	11.9%
複数の情報源を比較してみる	15.8%
あてはまるものは無い	26.4%

ニュース入手する際、ニュースサイトやアプリで「自分におすすめされる情報」を見る割合が50.8%と最も高いことが明らかになりました。これに対し、SNSから情報を得る人は28.1%、検索結果の上位に表示された情報を見る人は20.3%にとどまりました。また、複数の情報源を比較する人は15.8%と少数派です。この結果、自分におすすめされる情報を意識しがちであることが浮き彫りになっています。

表示される情報に対する認識低調

自分の考えに近い意見や情報が表示されやすいことを知っているか

認識	割合 (%)
よく知っている	9.6%
どちらかと言えば知っている	18.2%
どちらかと言えば知らない	11.2%
どちらでもない	32.5%
よく知らない	28.5%

最新調査で、SNS利用者が情報の偏りを十分に認識していないことが明らかになりました。「よく知っている」と答えたのはわずか9.6%にとどまり、多くの人が「どちらでもない」や「よく知らない」と回答しています。特に「どちらでもない」が32.5%と最も多く、表示される情報の偏りの認識が低いことが分かります。フィルターバブル現象などに対する無関心さが浮き彫りになっています。

その情報、自分の好みに偏っているかも

フィルターバブル現象

自分の好み情報「だけ」に囲まれて、多様な意見から隔離されやすくなる現象。好む情報のみを見て情報の偏りが生じ、視野が狭くなっていきます。

エコーチェンバー現象

似たような意見の中で、同じような意見が反響して自然と大きくなる現象。自分似た意見が大きく表示され、勘違いしてしまう恐れがある。

【重要】「用語の認識度」が、「表示される情報の仕組みの理解」に結びつくことが判明

用語の認識度	仕組みの理解
よく知っている	85.9%
なんとなく知っている	40.4%
どちらでもない	24.3%
あまり知らない	59.4%
全く知らない	18.3%

この結果から、「フィルターバブル現象」に関する認識が多くなるほど、ネット上の表示される多様な情報源の仕組みを理解していることが明らかになりました。特に、内容や意味を具体的に知っている人は85.9%と最も多く、仕組みの理解も85.9%と最も高いことが分かります。一方、「なんとなく知っている」人は40.4%と多く、仕組みの理解も59.4%と高いことが分かります。一方、「どちらでもない」人は24.3%と多く、仕組みの理解も24.3%と低いことが分かります。一方、「あまり知らない」人は59.4%と多く、仕組みの理解も18.3%と低いことが分かります。一方、「全く知らない」人は18.3%と多く、仕組みの理解も15.4%と低いことが分かります。

フィルターバブル現象の認知度について

認知度	割合 (%)
内容や意味を具体的に知っている	3.4%
なんとなく内容や意味を知っている	9.1%
どちらでもない	74.8%
あまり知らない	12.8%
全く知らない	1.5%

調査によると、全体の74.8%が「知らない」と答えており、認知度が極めて低いことが分かりました。さらに、「具体的に知っていることがある」と答えた人を合わせると、認知度が低い人は84.3%と非常に多く、フィルターバブル現象の認知度が低いことが明らかになっています。

【まとめ】ネットは求める情報が気軽に手に入る一方で、それ以外の多様な情報に対して意識的に目を向けることが重要と判明

ネット情報の信頼性を見極めるには、出てくる情報だけでなく多様な情報に意識的に目を向けることが重要です。異なる視点を意識することで、情報の偏りを避け、より信頼性の高い情報にたどり着くことができるでしょう。このポスターを通じて「フィルターバブル現象」について知ったあなたは、今後、ネット上の情報の見方が少し変わったかもしれません。これは、これからも意識して続けていく必要があります。

安達 慧

熊本大学教職大学院2年

まるでパソコンの画面を見るような感じの画面が効果的です。スマホ利用率の上昇やその中で生じる「自分の考えに近い意見や情報が表示される」フィルターバブル現象の危惧など、情報の多様性を知り、意識することが大切であると提案されていて納得させられます。

棒グラフや円グラフ、帯グラフなどの使用が適切で画面構成や配色も良く、「フィルターバブル現象」や「エコーチェンバー現象」などは、特に個性的で実に分かりやすい説明表現となっています。

特別賞

熊本日日新聞社賞

男が育休なんて...
なんて言ってますよね？



飯田 禅士郎
熊本大学教育学部4年

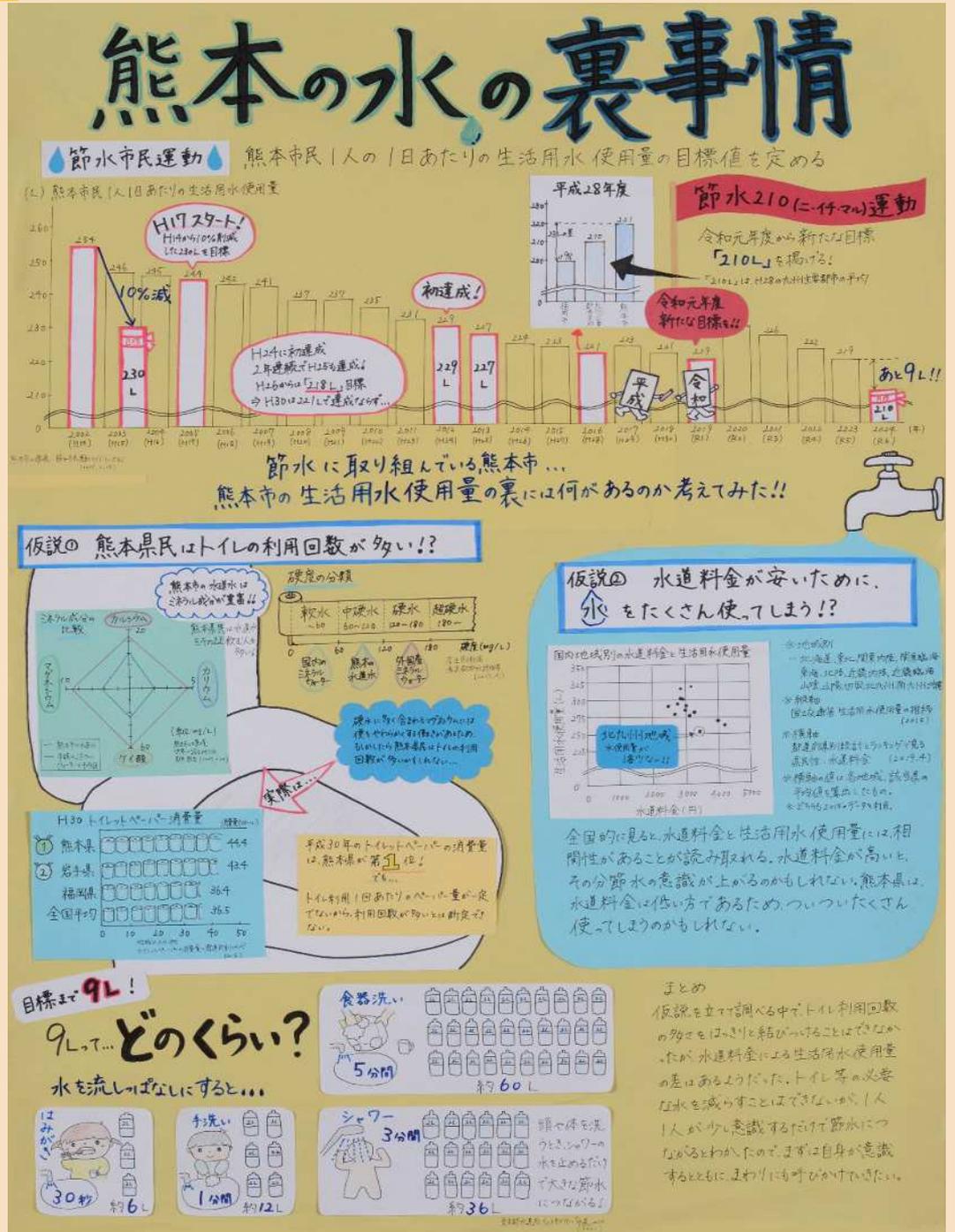
男性の「育休」に関する調査はいろいろところで報道されていますが、ここでは、本人の意思や職場の理解などから公表の効果そして就活学生の気持ちまで、いろんな言葉やグラフを使って、巧みに表現されています。

美的な項目の構成や色使いなどがとても素晴らしく、マウスの棒グラフや表情豊かなカットが散りばめられ、楽しい画面づくりとなっています。哺乳瓶の目盛りグラフやまとめとしての夫婦と子どものカットがとても愛らしくて良いですね。

特別賞

NHK熊本放送局賞

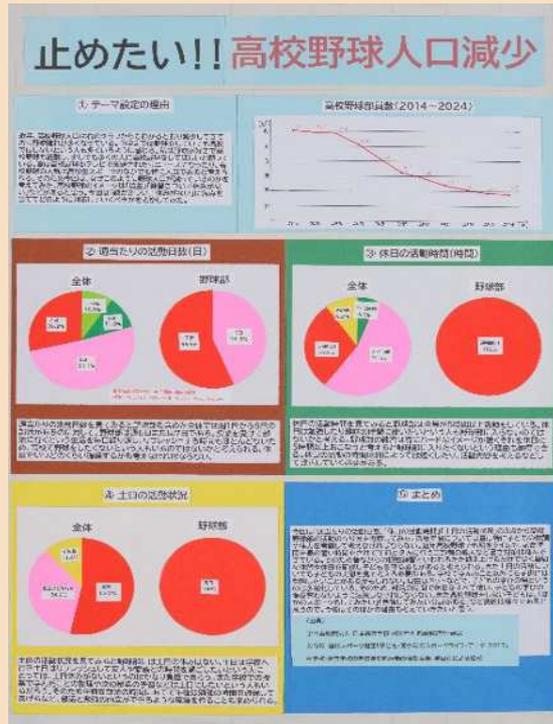
熊本の水の裏事情



荒牧 鈴奈
熊本大学教育学部4年

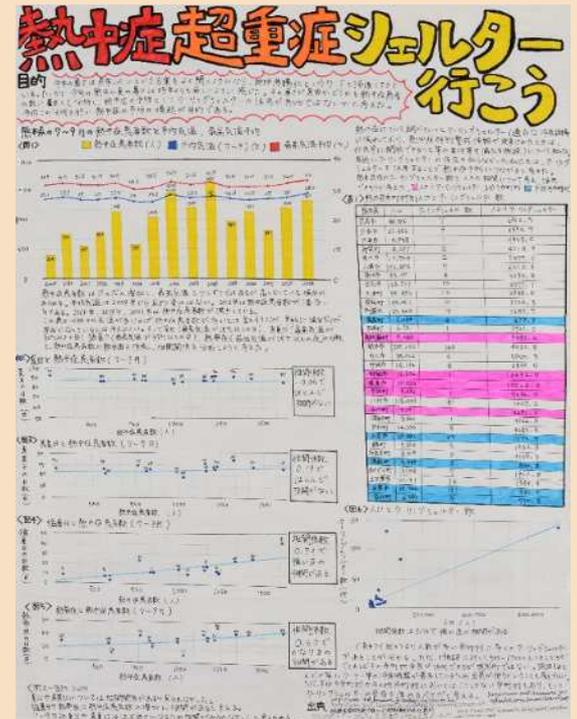
地下水に恵まれた熊本の水資源、大切にしたいところですが、節水目標値に随分と迫っている好結果がグラフで一目瞭然。水道料金や水の成分からトイレに使用する水の量の多さへの仮説など、実にユニークな調査で、実際トイレットペーパー消費量が熊本はトップであることからその事が証明されているのが分かります。
効果的なグラフなどを用い、画面の構成や配置など申し分ない表現です。配色について、色はもう少し贅沢に使って良いかもしれません。

佳作



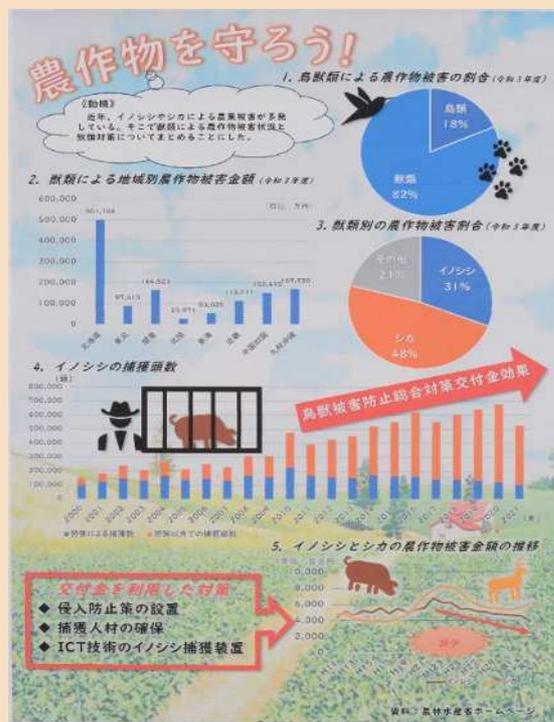
止めたい！！
高校野球人口減少

高尾 曜吏
熊本大学教職大学院2年



熱中症 超重症
シェルター行こう

市原 董 / 大塚 希亜
熊本県立翔陽高等学校2年



農作物を守ろう！

白木 敬悟
熊本県立熊本農業高等学校3年

熊本県統計グラフコンクールの入賞作品の掲載場所はこちらへ

熊本県ホームページ <https://www.pref.kumamoto.jp/site/graph/>



もっと統計について知りたいときや、統計データを探したいときは、インターネットで検索してみましょう！

☆ 統計について知りたいときは

なるほど統計学園

検索



☆ 統計データを探したいときは

e-Stat
政府統計の総合窓口

検索



(小中学生向け
統計データ検索サイト)

キッズすたっと

検索



熊本県 企画振興部 交通政策・統計局 統計調査課

〒862-8570 熊本市中央区水前寺6丁目18-1

TEL 096-333-2174 / FAX 096-384-7544

E-mail toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp